

▲▽▲テーマ「広島弁」のブックリスト▲▽▲

こちらの本はどれも北広島町図書館にあります。

1冊目『えっ？これって方言なの！？ 漫画で気づく日本人でも知らない日本語』

篠崎晃一監修・みちのく絵／主婦の友社

方言について漫画で知ることができる本です。全国で使われる「面倒」の呼び名分布図など視覚的に方言について理解できるコーナーがいろいろ載っています。

2冊目『とっさの方言』 小路幸也、大崎善生ほか／ポプラ文庫

全国の方言についてエッセイが66収録されています。広島に隣接した県のエッセイから読んでいくと、広島と似ているな、という部分を感じられて面白いと思います。

もちろん、頭から読んで、ほかの興味をもった県から読んでいてもOKです。

3冊目『別れ際にじゃあのなんて、悲しいこと言うなや』 黒瀬陽／早川書房

この小説は1990年代の広島を舞台にした青春小説です。今でも映画の新作が公開されているアニメ「エヴァンゲリオン」はこの頃、TV放送されていました。登場人物たちもエヴァに熱中している描写があります。

その他の「広島弁」関連本

『ことばの歳時記』 金田一春彦／新潮文庫

1日に1つの言葉を取り上げて意味や歴史を紹介してくれる本です。1日1ページなので朝読にもおすすめ。1月27日のページで広島弁が紹介されています。

『愛と勇気を分けてくれないか』 清水浩司／小学館

1980年代の広島を舞台にした恋愛青春小説です。

『カグラ舞う！』 1巻 佐藤両々／少年画報社

なんと北広島町が舞台のモデルになっている神楽漫画です。登場人物のセリフの7割が広島弁です。

『この世界の片隅に』 上 中 下 こうの史代／双葉社

『夕凧の街 桜の国』 こうの史代／双葉社

映画化・ドラマ化されている広島を舞台にした漫画です。もちろん登場人物のセリフのほとんどは広島弁です。



○○テーマ「どこかで誰かが頑張っている」ブックリスト○○

こちらの本はどれも北広島町図書館にあります。

1. 『ナイフみたいにとがってら 反抗期男子観察日記』 (月野 まる 著／KADOKAWA)

ブログ掲載のエッセイマンガで、中学生と高校生の息子とのやり取りを面白く紹介しています。子育てマンガの一種ですが、中学生でも楽しく読むことができます。

2. 『キッズのココロわしづかみ術』 (小島 よしお 著／主婦と生活社)

お笑い芸人小島よしおさんが、子ども向けライブをきっかけに子どもとの接し方や大人の意識を変える方法など実体験を交えて紹介しています。

3. 『魔女の宅急便』 (角野 栄子 作／福音館書店)

13歳の見習い魔女キキと相棒の黒猫ジジが、まったく知らない土地（しかも大都会！）で一年間の魔女修行をします。町で出会った人々や、仕事を通して一人前の魔女になる様子が書かれている児童文学です。

。●。○●。○●そのほかのおススメ本●。○●○。●。

『なでしこキャプテン 夢は見るものではなく、かなえるもの』

(澤 穂希 作／早草 紀子 写真／集英社みらい文庫)

女子サッカー日本代表のキャプテンをしていた澤穂希選手が書いた自伝です。子ども時代の話からキャプテンとして日本代表を引っ張っていき、ワールドカップ優勝を成し遂げた時のエピソードも書かれています。

『夜間中学へようこそ』 (山本 悦子 作／岩崎書店)

春から中学生になる優菜は、自分のおばあちゃんがほとんど漢字の読み書きができないことを知ります。更に、おばあちゃんは「夜間中学」へ行く決断をしたことを聞いて家族の反応は様々です……。おばあちゃんの大決心を描いています。

『まっしょうめん！』 (あさだ りん 作／新井 陽次郎 絵)

成美は、海外赴任中のお父さんの軽はずみな一言で剣道を始めることになってしまいました。ゼロからのスタートは心も体もヘトヘトになるばかり……。成美の頑張りをぜひ読んでください。

『ハブテトル ハブテラン』 (中島 京子 著／ポプラ社)

東京生まれ東京育ちのダイスケが、祖父母の暮らす広島県福山市に短期間の転校をします。ダイスケの素晴らしい夏が始まります。